

令和4年度（2022年度）第1回スマートムーブデー事業検討部会会議録

- 1 日時 令和5年（2023年）2月1日（金）午後2時～3時
- 2 場所 函館市環境部4階大会議室
- 3 出席者 部会委員（4人）
武田和男委員，高橋泰助委員，清水陽子委員，佐藤賢一委員
事務局（3人）
函館市環境部環境総務課 田中課長，佐藤主査，高島主事

4 発言要旨

(1) 開会

○ 高橋部会長挨拶

最近，原油代が恐ろしく高くなってきており，各家庭も大変だと思うが自分も美容室を経営していて，ボイラーが年中運転しているため凄い金額である。

日本は石炭火発で電気を使っているのだから，石炭も多く使用してCO₂の排出が増えているものと推測する。

家に太陽光発電を設置していますが，12月は天気が悪くほとんど発電できず，1月になるとパネルに雪が積もり発電できない状況であった。全国的にもそういった状況などでCO₂排出量が増えているのではないかと思う。

(事務局)

- ・ 名簿順に出席部会員の紹介

(2) 議事

議題(1) はこだてスマートムーブデーの実施状況について

- ・ 事務局から資料1「はこだてスマートムーブデーの実施状況」に基づき説明

(高橋部会長)

ただ今の事務局からの説明に対し，質問・意見等がありますか。

(高橋部会長)

参加団体独自の取組で，公共交通機関を利用した通勤懲憑（しょうよう）とあるが，懲憑とはどういった意味か。

(事務局)

懲憑とは勧めるといった意味なので，団内で公共交通機関を利用した通勤を勧める，推奨するといった意味である。

(高橋部会長)

凄く一生懸命やっているところもあり，ノーエレベーターは参加し易い取組である。

今日はこの会場までノーエレベーターで登ってきたが，良い運動にもなる。

また，社員健康増進取組みウォーキングフライデー実施については，どの団体か。

(事務局)

保険会社の取組である。

(清水委員)

参加団体の独自の取組について、本学ではエコドライブについてアナウンスする取組が中心になっていましたが、ノーエレベーターデーの取組は、学生も参加しやすい取組であり、新たに提案してみたいと思う。

(武田委員)

個人的に取組を行っており、3年前に車は廃車にした。車がないと移動できない距離に施設が点在しており、歩いて楽しめるまちづくりを函館市では提案しているが、ウォーキングで楽しめるまちになると良いと思う。

(高橋部会長)

車を使わないで移動できるまちづくりをぜひ、函館の人口は間違いなく減りそうであり、どんどん拡散するのでなく、ノーマイカーで過ごせるまちづくりを提言できると良い。

色々な広報をしているので、例えばウォーキングフライデーをやっている人達やノーエレベーターデーをやっている人達を撮ってあげて、様々な取組をしているということをもうちょっと広げていけば、スマートムーブが広がるのではないかと思う。記事種のエピソードが集まったら、新聞などのマスコミにこのようにスマートムーブデーをやっているということを取材してもらおうと良い。

(武田委員)

車に乗らないと困るのは車産業で、電気自動車にシフトするといっているが、参加団体に自動車関係の事業者はほとんどいない。車に乗らない生活にシフトするということは行政全体の大きな動きがなければできない。

(高橋部会長)

今電気自動車がどんどんできて、各メーカーがアピールしたいところでもあるので、CO₂を出さずに移動できますよということで、電気自動車などもアピールすれば、参加団体もうちは電気自動車で社員は通勤していますからという、エコな会社なんだなあということになると思う。

そのように、アプローチの仕方で広がるのではないかと思う。

(武田委員)

自転車店も参加すれば良いと思う。自転車に週に5回位乗っているが、乗っている人が少ないと思う。

(高橋部会長)

以前、自転車協会に協力をいただいていたと思うが。

(事務局)

以前は、反射板のシールをいただいていた。(協力：函館バイコロジーをすすめる会)

今はそういった連携は行っていない

(高橋部会長)

そういった連携ももう少しできると良い。

議題(2) 参加団体アンケート調査結果について

- ・ 事務局から資料2「はこだてスマートムーブデー参加団体アンケート集計結果」に基づき説明

(高橋部会長)

アンケート結果で、何で知ったかについて、チラシ、ポスター、ホームページ、市政はこだてを合わせると半分位になるので、そういった広報は結構大事である。

参加いただいた理由については、環境への貢献が多いが、健康増進や地域活性化など2つ、3つの要因でやっているところが多いと思う。

独自の取組でマイカー通勤禁止とあるが、社用車で通勤しているのか。

(事務局)

自動車での通勤を控え、公共交通機関などで通勤をするものと思われる。

(高橋部会長)

ステッカーの素材に関してL I M E Xという意見があり、石灰で作ったものかと思うが一考だと思います。

(清水委員)

実践割合でノーマイカーとエコドライブとテレワークを比べて見た時に、エコドライブが取り組みやすいということは自分でも実感しているが、函館市の土地柄や色々な企業の会議スタイルなどもテレワークを実践したくてもできないということがあるので、割合としては低くなっていくと思う。

先ほどの実施状況のところにも繋がるが、色々な団体で独自の取組で面白い取組をされているので、そういったものをもっと発信し照会できたら、3つの取組に縛られずに、新しい形で動いていけるのではと思う。

(高橋部会長)

学生が考えたら、また違う考えがでてくるかもしれない。

(清水委員)

ちょっと紹介すれば、そういうものもあるんだなということで、何か面白いアイデアがでてきたら良いとアンケートを見ていて思った。

議題(3) 参加団体配付用ステッカーのデザインについて

- ・ 事務局から資料3「参加団体配付用ステッカーのデザイン(案)」に基づき説明

(高橋部会長)

ステッカーはどこにどうする予定なのか。

(事務局)

店舗であれば、お客様の見えるところに貼っていただくのが良いと思うが、一般の方が出入りしない団体であれば、入口に貼っていただくなど、関係者の方が目につくところに貼っていただけたらと思う。

参加団体がうちの会社・団体は、こういった環境にやさしい取組を行っているということをアピールするツールとして活用して欲しいと考えている。

(高橋部会長)

未来大学のデザインをやっている人達にデザインを頼んだ方が良いのではないか。

ステッカーはもうちょっとシンプルなイメージがある。

できるだけ、スマートムーブデー移動をエコに、第一金曜日というのがで

ればだいたいステッカーの意味はあると思う。

あれも入れたいこれも入れたいと説明が多くなってくるが、説明の分だけアピール効果が薄くなるという反比例の関係だと思う。

せっかくスマートムーブという良いデザイン（ロゴ）があるのでこれを活かしてやると良いのではないか。

函館短大ではそういったデザイナーはいませんか。

（清水委員）

デザインをサークル活動としている部活はあります。

（高橋部会長）

そういったところに頼むとその方々もやりがいを感じて取り組んでももらえるかもしれない。

これを本当に広めたかったら1,000枚以上の単位でないとあまり意味がない。参加団体だけでもそれなりの数があると思う

（事務局）

本社だけでなく、営業所などにも貼りたいという要望があれば柔軟に対応したい。

（高橋部会長）

広める方法をもう少し考えるとやった感がでると思う。

（佐藤委員）

デザインは再考することは可能なのか。

（事務局）

今年度中の作成と考えているので、今回の作成に関してはこれからどこかの団体に頼んでということは難しい。今後新たに枚数をたくさん作れるような機会の時にはそういった形も検討したい。今回は、今年度中に作成し配布するので、ベースのデザイン案についてもご意見をいただきたい。

（高橋部会長）

移動をエコにスマートムーブのロゴをど真ん中に入れればすっきりすると思う。エコな移動の左側のたくさんの字はいらないのではないか。

上のエコな移動に積極的に取り組んでいますは、真ん中にも移動はエコになって書いているのでそこで意味はわかると思う。

参加団体の記載は、参加していますとかの方が良い。

（清水委員）

ポスターでも取り組んでいるということを掲示しているところが多いと思うので、シンプルにした方がわかりやすいのであれば、少し削っても良いのではないかと思う。

（武田委員）

スマートムーブデーと3回でているので、2つ位で良いと思う、エコな移動も何回も書いているのでこれもはずせる。言葉が何回もでてくることでそういう効果もあるかもしれないが、目があちらこちらに行ってしまう。

議題(4) 今後の事業内容について

- ・ 事務局から資料4「令和5年度（2023年度）のはこだてスマートムーブデー事業（案）について」に基づき説明

(高橋部会長)

取組要件について、皆さんの様々な取組の中で、エレベーターを使わない移動というものがあつたが、これはとてもスマートムーブだと思ふ。4番目位に入れていただければと思ひます。

事務局から来年度の街頭啓発をどこで実施しますかとのことでしたが、函館でいけば美原、本町、駅前があり、万台跨線橋も面白いと思ふが、皆さんの意見はどうか。

(清水委員)

一度も街頭啓発に参加出来ずに様子がわからないということがありますが、美原と本町でやつた中で、手応えというかより良い場所だつたということがあれば継続することも良いと思ふ。

(武田委員)

私は美原でしか参加していないが、車の移動が多く、通行人はほとんどいなかった。

人に訴えるなら市民会館の電停あたりも候補になるかと思つていましたが、狙いが車なのか人なのかどちらになるか。

(高橋部会長)

去年（美原）は、車だという感じであつたが、本町は歩行者がいるので人も含まれる。

(高橋部会長)

事業者で参加する方のことを考えることも一つの要因となる。車で移動する人は美原の方が便利かもしれない。

皆さんからは、色々と意見がでたと思ふので、最後に事務局からなにかあるか。

(事務局)

皆さんから色々と意見を出していただいたので、いただいた意見を集約し、4月から5月頃に開催する協議会においてスマートムーブデーの事業案を提示したい。また、ステッカーについてもいただいた意見を踏まえて調整し、作成することとしたい。

(高橋部会長)

以上をもちまして、本日のスマートムーブデー事業検討部会を終了します。